

I S O / I E C WG21 (IT Asset Management / IT資産管理)
WG 2 1 国際会議出席報告書

2025年1月24日

参加者氏名：高橋快昇

1. 開催場所：トロント（カナダ）

2. 開催期間：2024.11.19-20

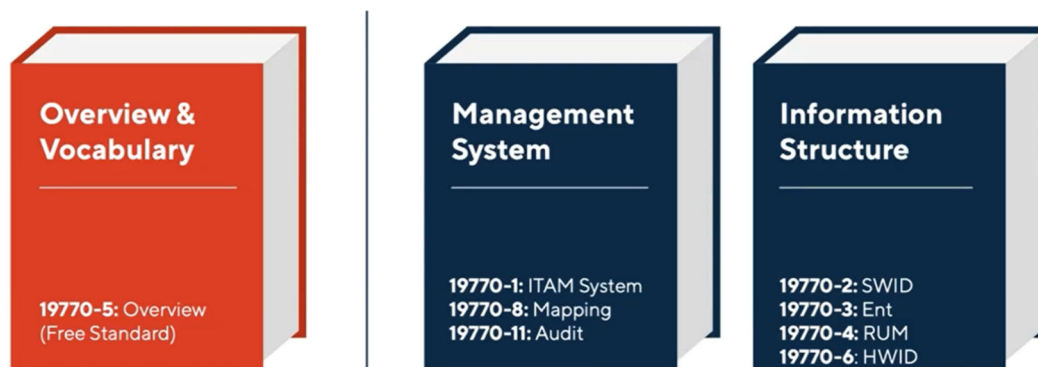
3. 参加国数／出席者数： 7 カ国/17 名, 2 リエゾン

会場参加者：コンビナー(Ron), 幹事(Rose-Ann), カナダ(2), 独 (1) , 日本/ SAMAC (高橋) ,
リモート参加者：US(3), イギリス (2) , 独 (1) , オランダ(1), 中国 (1) , ITAMForum(3)

4. 審議事項：

4.1 審議概要

4.1.0 WS21 の状況

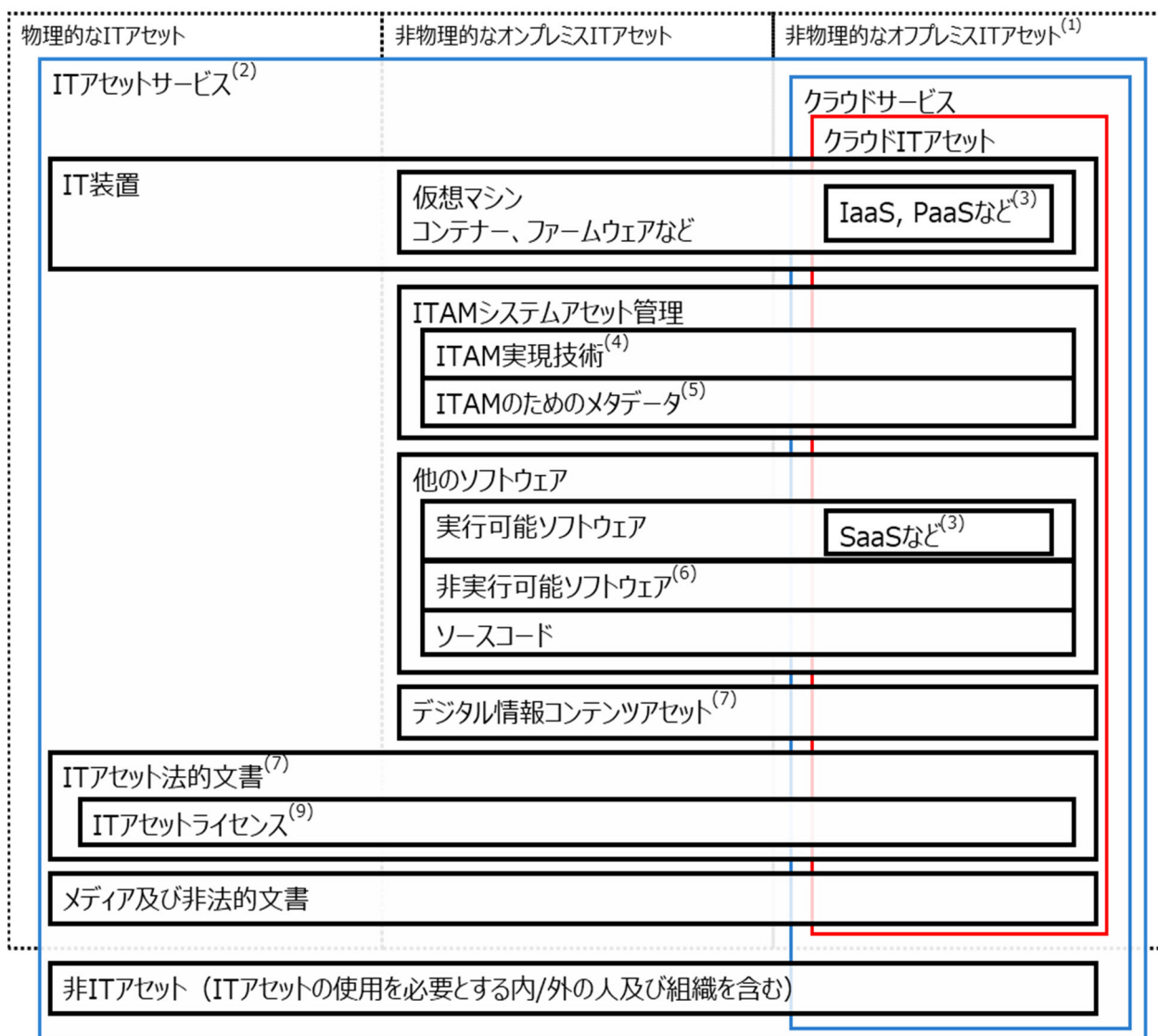


- 改版：17770-1→ed.4 (CD 投票前, WG 内 WD) , 17770-5→ed.3 (DIS 投票中) ,
- 新規 技術仕様書：17770-10 ed.1 Guidance on ITAM Implementation (DIS 投票済待ち) ,
- 新規 技術仕様書：17770-13 ed.1 Guidance on ITAM Sustainability (NP 投票済待ち)

4.1.1 ISO/IEC 17770-1Ed.4 (要求事項)

ISO の投票に移る前の最終的な WD のレビューが行われた。中小企業を意識し、可能な限り簡素化している。合わせて認証のための要求事項 ISO/IEC 17770-11:2021 についても中小の企業向けにも適用できるようにするにはどうすれば良いかについても検討することになった。（WG21 のメンバーは 12 月末までにコメントを出す）また、現在、FinOps ファウンデーションと合同で行っている作業は ITAM フォーラムを窓口とし活用し簡素化する。WG21 のメンバーは、今回の ISO/IEC 17770-1Ed.4 ドラフトのレビューとフィードバックを 12 月末までに提供する。この後、投票に移る予定。第 3 版からの変更点を以下で整理しておく。

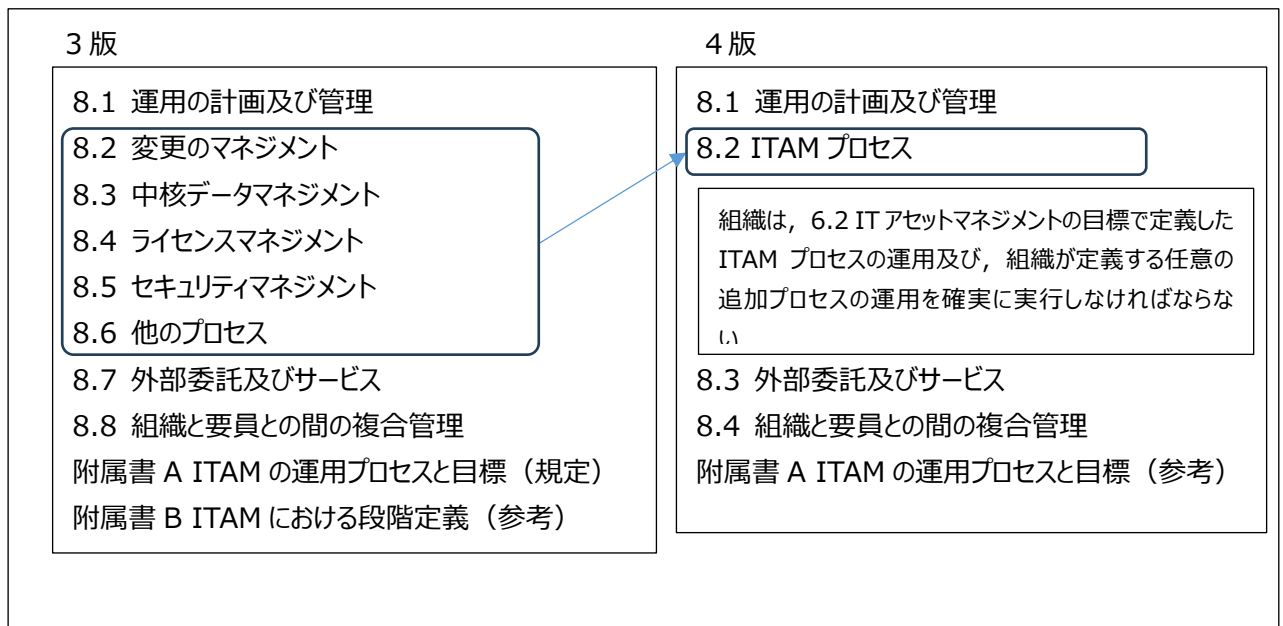
- IT アセットの種類で「物理的な IT アセット」と「非物理的な IT アセット」に分け更に「非物理的な IT アセット」を「非物理的なオンプレミス IT アセット」と「非物理的なオフプレミス IT アセット」に分けクラウド環境を前面に出したこと。



- [1] 組織はオンプレミス環境でプライベートクラウドを実施することもできる。
- [2] ハードウェア保守及び教育のような通常は外部から供給される IT 資産と非 IT 資産の組み合わせ。
- [3] これらはサービスとしてではなく、どのように管理されるかの観点で示している。 Storage as a Service や Function as a Service などの類似製品が含まれる。
- [4] アプリケーション、システム、及びツールを含む。
- [5] IT 資産及び個人や組織の情報のような IT 資産の管理のために必要な非 IT 資産の情報。
- [6] フォント、構成情報、辞書など実行可能なソフトウェアで使用される。
- [7] 情報コンテンツとしてのデジタル資産で大半はライセンスされているドキュメント、オーディオ、ビデオ、グラフィック、データベース、自立辞書など。 ITAM は例えばライセンス遵守のようなこれら資産の全体のマネジメントを含んでよいが、コンテンツのマネジメントは含まない。
- [8] 契約書、同意書、発注書及び請求書を含む。
- [9] ライセンス証明及びライセンスキーを含む。

図 1: 主要な IT 資産の種類

- 箇条 3 の用語で ISO55000:2014 から参照を 2024 版に修正した。用語で知識（knowledge）, 機会（opportunity）, 価値（value）を追加した。
- 箇条 8 の記述を中小企業でも容易に導入できるように簡素化して「8.2 ITAM プロセス」としている。ITAM プロセスは「6.2 IT アセットマネジメントの目標及びそれらを達成するための計画策定」で規定するプロセスとし、組織の状況に合わせて規定することが許されている。附属書 A も PDCA を基本とした（参考）になっている。第 3 版ではライフサイクルと機能管理に分類した 15 プロセスが 8.2~8.5+附属書 A（規定）で規定され、附属書 B（参考）で Tier の概念が導入されていた。



● 附属書 A（参考）



番号	プロセス	プロセスの目標
1	通知: IT 資産情報の収集, 分析, 報告	
1.1	IT 資産データの可視化	
1.1.1	検出及びインベントリ	デプロイされた IT 資産の検出 (Discovery) 及びライセンシング (インベントリ) で使用する方法を含んだ関連する資産の情報の記録
1.1.2	契約及び発注トランザクションの詳細	IT 資産に関連する契約, 発注取引, 及び支払情報の収集と記録
1.1.3	正規化	検出及びインベントリデータ, 契約及び購入取引の詳細を, 一貫して使用可能な形式に変換する。
1.1.4	測定と使用量	IT 資産の使用情報を収集及び記録する
1.1.5	需要予測	IT 資産の将来の需要予測を収集, 記録し, 関係者と検証する
1.2	IT 資産データ分析	
1.2.1	支出と権利	契約及び購入取引の詳細を分析して, IT 資産の支出と権利情報を作成する。
1.2.2	消費	検出及びインベントリの詳細を分析して, IT 資産の消費情報を作成する。
1.2.3	現在及び将来のニーズ/需要	計量データ及び使用量データ, 需要予測データを分析して, 現在及び将来の需要情報を作成する。
1.2.4	環境の持続可能性	温室効果ガス排出量の計算など, IT 資産の環境への影響を分析する。
1.2.5	リスクと機会	IT 資産のコスト削減, リスク削減, 及び持続可能性への影響の削減の機会を特定する
1.3	IT 資産データのレポート作成	
1.3.1	財務及び事業報告	レポート, ダッシュボード, 又はデータフィードを通じて, タイムリーな IT 資産情報と分析を関係者が利用できるようにする。
1.3.2	財務管理	IT 資産に関連する財務コストが予算化, 予測, 記録, 監視, 及び管理されていることを確実にする。IT 資産コストは単位当たりの経済性で表すことができ, コストセンターに請求される。IT 資産に関連する投資収益率 (ROI) を追跡する。
2	最適化: コスト, リスク, 及び環境の影響の軽減を実施するための行動	
2.1	資産の適正化	
2.1.1	消費の適正化	組織のニーズを満たすために IT 資産の消費レベルを最適化する
2.1.2	支出及び権利の削減	IT 資産の消費コストを最小限に抑える
2.1.3	適正な契約条件	IT 資産の消費に関する IT 資産ベンダーとの契約条件を最適化する
2.1.4	環境負荷の低減	IT 資産の消費による環境負荷の最小化
3	運用: IT 資産の継続的な管理	
3.1	資産の適正化	
3.1.1	要求と承認	IT 資産の要件が適切に提出, 分析, 承認されていること
3.1.2	開発	組織によって開発された IT 資産について, その開発は ITAM の要求事項をサポートする
3.1.3	調達	調達される IT 資産の場合, 調達は ITAM の要求事項をサポートする

3.1.4	リリース、デプロイ、プロビジョニング	ITAM の要求事項をサポートする方法で IT 資産がリリースされ、プロビジョニングされ、コストが割り当てられる
3.1.5	監視と保守	IT 資産は、ITAM の要求事項をサポートする方法で監視及び保守される
3.1.6	プロビジョニング解除と廃棄	IT 資産は、ITAM の要求事項をサポートする方法でプロビジョニング解除、廃止、廃棄される
3.2	その他の ITAM プログラム運用	
3.2.1	ベンダー管理	IT 資産及び関連ベンダーとの関係は、ITAM の要求事項をサポートする方法で効果的に管理される
3.2.2	契約・更新管理	IT 資産及び関連サービスの契約は、ITAM の要求事項をサポートする方法で実行、管理、及び更新される
3.2.3	コンプライアンス及び監査の管理	IT 資産は、適用される契約、法律、規制を確実に遵守する方法で管理される。IT 資産ベンダーの監査は、組織の混乱とリスクを最小限に抑えながら、検証要件への準拠を確実にするように管理される。
3.2.4	ツールと自動化管理	ITAM のツールと自動化は、ITAM の要求事項をサポートする方法で実行される
3.2.5	データ品質管理	ITAM データは継続的に管理され、関連性、完全性、正確性、可用性が向上する。ITAM データは、組織全体の関連データリポジトリを改善するために使用される。
3.2.6	セキュリティ管理	IT 資産は、ITAM の要求事項をサポートする方法でプロビジョニング解除、廃止、廃棄される
3.2.7	IT サービスマネジメント	ITAM に関連する基本的なサービスレベルを定義、記録、管理する。計画された変更を制御し、意図しない変更の結果を確認し、必要に応じて悪影響を軽減するための措置を講ずる。

4.1.2 I ISO/IEC 19770-5 : 202x Ed.3 (概要及び用語)

DIS 投票中であり進展はない。

4.1.3 ISO/IEC 19770-10 : 202x Ed.1 技術仕様 (ITAM 導入ガイダンス)

ISO の編集チームによるレビューが進行中でグラフィックレビューが終わり、テキストコンテンツについてのレビューが進行中。図の説明に対してのマイナーな更新が要求されているとのこと。最終投票が要求されるかどうかは現状不明であるが、順調に進んでいる。

4.1.4 ISO/IEC 19770-13 : 202x Ed.1 (持続可能な IT 資産管理)

NP 投票は Close したが、ISO からの通知待ちで進展がない。

4.2 その他

今回、ISO 待ちの案件が多く、また、直前に ITAM フォーラムのセッションが中止になるなどスケジュールが 1 日半と短くなった。また、情報構造関連の規格 (-2, -3, -4, -6) の検討が一旦保留になっていることもあり、活気に欠けたように見える。ITAM についての方向性について、分析とそれに伴うアクションが重要であり、自動化や AI の適用といった新しい動きがあることが議論された。そのことに関連し、WG21 のメンバーには、ITAM 分野のリブランディング/リポジショニングの代替案に関するコメントや提案を 12 月末までに提出することが要求された。

4.3 次回会議

- Monthly Call : 毎月の最終週水曜日に実施（12 月は休み）
- Plenary Meeting : 8-13 June 2025 Bangkok, Thailand

以上